



事務局ニュース

〈3号〉 2018. 7. 26

暑い、暑い夏になりました。各地で猛暑が続いていますが、体の調子はいかがですか？ 全国大会も間近に控え、コンディション作りに頑張ってください。

第1回アジアマスターズ水泳選手権大会兼第35回ジャパンマスターズ水泳選手権大会

7月12日より16日まで5日間、日本ガイシアリーナにて盛大に行われました。北は帯広、南は石垣島より5,208名に加え、アジアから11カ国250名の選手が参加しました。



ご存知かと思いますが、マスターズ大会ではA側スタート(スタート側)とB側スタート(ターン側)があります。両側に機械操作員(写真左)席も準備され数多くの競技役員が携わっています。また、リゾリューション・レジストレーションといった招集にまつわる場所や、高齢者が多いためプールガードに日本ライフセービング協会の協力もありました。

最高齢の長岡三重子さん 104才は、100mは途中棄権してしまいましたが、50m自由形と背泳ぎは完泳され3日間元気に過ごされました。

世界記録 **13個**
日本記録 **63個** 達成

今回の大会で、上記の記録が生まれました。中でも大崎喜子さんは、なんと7種目に出場され5個の世界新記録を樹立、トータル252個を獲得されました。

おめでとうございます! これからも頑張ってください!

ファンゾーンでのイベント

プール北側の屋外エリアに、選手皆さんの憩いの場、海外選手との交流の場所としてファンゾーンが設置されました。

イベントとして

- ① メダルセレモニー (写真左)
- ② フレンドリーパーティー
 - ・ジャパンマスターズ 10年連続出場、20・30回出場 表彰 (90名) (15名・1名)
 - ・デサントジャパンプレッツ お楽しみイベント
- ③ フェアウェルパーティー
 - ・日本水産プレッツ 大じゃんけん大会
 - ・SAYONARA セレモニー (大会フィナーレを飾るセレモニー)



高橋会長から表彰を受けた後、北島選手との握手もありました

屋外ということで、とても暑かったですが、どのイベントも大変盛り上がっていました。最後のSAYONARAセレモニーでは、今大会の映像や2019年に光州で行われる「世界マスターズ水泳選手権」の紹介が行われました。

競技以外の面では、4~8位入賞者のためのメダル授与所が設けられたり、記録証が個人のIDカードをかざすだけで印刷されるなど驚きました。(写真左) マスターズ大会の凄さに感動です

また、毎日2種目ずつ5日間泳がれた(計10種目)選手が10名もいたこと。その中に86歳の男性がいて、「来年も頑張るぞー」と元気いっぱいだったこと。など

(写真右:メダルをいっぱい見せてくれた)



目標を持てばいくつになっても頑張れることを教えられた大会でした。

選手の皆さんありがとう! 来年も是非参加してください!

5日間お手伝いいただいた競技役員の方、お疲れ様でした。

